

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

日本平和大会 in 岩国 大阪活躍

「日本平和大会 in 岩国」が10月28、29日山口県内で約千人の参加で開催されました。

大阪からは5地域平和委員会と2労働組合、3団体(大阪原水協、大阪安保、ヘルスコープ)から計18人が参加しました。大阪代表団は28日、防府市内で「山頭火ふるさと館」を見学した後、開会集会に参加。

開会集会では、キャンドル集会を重ねて国政私物化のパク韓国大統領を引きずりおろした市民団体のひとつ参与連帯のパク・チョンウンさんが海外代表として挨拶、千坂純日本平和委員会事務局長が主催者として報告しました。学習コーナーではジャーナリストの西谷文和さんが「戦場の現場から憲法9条改憲を考える」報告、リラン・バクレー監督が岩国基地報告をそれぞれ映像を用いて行いました。さらに地元岩国、沖繩から基地強化反対の力強い取り組み報告がありました。開会集会後、60人で青年集会が持たれました。

29日午前、岩国市内で岩国基地見学を含む各分科会と国際交流シンポジウム(上羽雄雄事務局長が韓国市民団体との交流報告)が行われました。

午後、岩国市役所前広場での閉会集会後、岩国駅前までピースパレードをしました。なお、大会の中でふたりの青

年労働組合員が近藤理事長らの呼びかけに応え入会・新聞購読を快諾してくれました。

【参加感想文】

旭平和の会 松本千賀子さん

以前からチャンスがあれば行きたいと思っていました。初めての参加です。全体集会の進行が、すごく良かったですね。九州の各県から佐賀・熊本・馬毛島等、山口、神奈川、埼玉：と日本の各地の取り組みがよくわかり、頑張っている状況がわかりました。

2日目の分科会・シンポは「国際交流シンポの北東アジアの展望を考える」に参加しました。パク・クネ大統領を辞任させた力の大きさ、現在の北朝鮮問題への解決には厳しい状況ではあるが、米朝の無条件直接対話の必要性が、理解できました。日本政府のアメリカ第一、武力行使をおおるような状況ではダメです。討論では反核の課題が抜けていたのが残念でした。



「憲法改憲の」と万人唱

「九条改憲を許さない!大阪総がかり集会」が11月3日、中之島公園芝生広場で2万人の参加で開催されました。

集会には会員の辰巳孝太郎日本共産党参院議員など4野党の代表も参加し挨拶、参加者たちは市民と野党の共同をさらに広げ安倍政治を終わらせる決意を固めあいました。

集会後は3コースに分かれて「戦争法・共謀罪は廃止」「戦争あかん」「安倍改憲反対」とシュプレヒコールをしながらデモ行進。

大阪平和委員会は大阪城公園のコース。近藤理事長が先頭幕持ち、岩本青年協議長が副指揮者、そして上羽事務局長がデモ出し係の3つの役割を担いました。ほかに4人がカンパ係を務め80万円近いカンパ集約に協力しました。

この集会で、府高教の組合員がひとり入会してくれました。



「馬を増やしてはならない」

日本キリスト教改革派
千里山教会牧師 弓矢健児



弓矢牧師

民をエジプトへ送り返すことがあってはならない。あなたたちは二度とこの道に戻ってはならない」と命じられています。馬とは軍馬のことです。ここでは、軍事力を増強することに対する制限が定められています。また軍馬を調達するために民をエジプトの奴隷に売ると警告されています。

法によって権力を制限し、たとえ、王であっても憲法が許す範囲を超えて権力を行使してはならないという考えを立憲主義と言います。近代民主主義国家の基本理念です。しかし、こうした考え方は聖書の中にもあります。確かに、聖書の中に立憲主義という言葉はありません。しかし、聖書がはっきりと教えていることは、王であれ権力者であれ、決して絶対者ではないということです。王の権能は神から委託されたものであり、その委託された範囲で行使してこそ正当性、合法性を有します。そのために王であっても法(モーセ律法)に従うことが求められました。

特に旧約聖書の申命記17章14節以下には、将来、イスラエルの民が王を立てようとする場合、守るべきルールが記されています。そこには、王がすべきこと、してはならないことの限界も定められています。例えば申命記17章16節を見ると、「王は馬を増やし、てはならない。馬を増やすために、

民をエジプトへ送り返すことがあってはならない。あなたたちは二度とこの道に戻ってはならない」と命じられています。馬とは軍馬のことです。ここでは、軍事力を増強することに対する制限が定められています。また軍馬を調達するために民をエジプトの奴隷に売ると警告されています。かつてイスラエルの民はエジプトの奴隷として苦しんでいました。だからこそ、神は軍備増強のために、再びエジプトの奴隷となるような道を行ってはならないとモーセ律法を通して戒められたのです。このことは日本の為政者にも言えることです。為政者は立憲主義を守り、憲法に従って政治を為すべき義務があるのです。そうである以上、今、政治が為すべきことは憲法9条に違反する「安保法制」によって米軍の戦争に協力したり、憲法を改悪して、日本を戦争国家にすることではありません。そうではなくて、膨大な軍事費を削り、深刻な格差と貧困の問題を解決し、国民生活を豊かにしていくことです。為政者はそのためにこそ政治権能を委託されているのです。日本は軍国主義によって国民の命と権利を奪った過去を経験しました。聖書は私たちに、「二度とこの道に戻ってはならない」と教えています。



米軍基地は「マグネット効果」

「米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後 2017」が 11 月 5 日午後、京都府丹後文化会館で 650 人の参加で開かれました。

集会では前泊博盛沖繩国際大学大学院教授が「緊迫する東アジア情勢と日米地位協定の実態」と題し次のような講演を行いました。――在日米軍基地は、戦時の出撃基地になるだけでなく戦争相手国の標的となる。これを「マグネット効果」という。

北朝鮮のミサイル発射に伴い Jアラートがうるさいが、PAC3 という迎撃ミサイルシステムは「水鉄砲」程度の能力しかない。北朝鮮のミサイルが原発に打ち込まれれば核爆発を起こすことができる。米軍基地も原発もなくすべきだ――

集会後、参加者は、経ヶ岬の「米軍 X バンドリーダー基地強化反対」とコールし京丹後市役所周辺をデモ行進しました。大阪は上羽事務局長を含め 4 人がこの集会デモに参加しました。



沖繩連帯行動

大阪平和委員会は、11 月 13 日昼、近鉄上本町駅頭で「沖繩連帯宣伝行動」を実施しました。

上羽事務局長がハンドマイクを握り「沖繩県辺野古の米軍基地建設工事をストップ」「みんなで力を合わせ憲法 9 条を守ろう」と呼びかけました。参加者は、チラシを配布しながら、「安倍 9 条改憲 NO! 憲法を生かす全国統一署名」への賛同を通りがかる人々に訴えました。

この宣伝行動では、普段と違って 40 代、50 代のサラリーマン風の男性が何人も立ち止まり「憲法は守りたいですね」と言って署名に応じてくれました。

この行動には、天王寺平和委員会からの参加もあり、計 6 人で「安倍 9 条改憲 NO! 憲法を生かす全国統一署名」が計 10 筆集まりました。



「ザ・思いやり II」140 人鑑賞

第 61 回堺母親大会が 11 月 12 日堺市内で 140 人の参加者で大成しました。

大阪平和委員会は、この大会の第一部で吉田祥治事務局長が「ザ・思いやり II」上映を担当し、上羽事務局長が映画のコメントーターを務め成功に貢献しました。

来年 1 月にも高石母親大会で同映画を上映する予定です。

沖繩県名護市長選挙が来年 1 月 28 日告示・2 月 4 日投票で実施されます。この市長選には稲嶺進市長が辺野古新基地建設工事を公約に掲げ立候補を予定しています。絶対に負けられない大切な選挙。大阪平和委員会としても最大限の支援をおこなう予定です。

支援参加の大阪安保の要項は以下の通りです。

名護市長選挙 支援実施要項

- ① 5 日以上支援に入る場合、飛行機代 3 万円まで保障
- ② 大阪安保が確保する現地宿舎を利用する場合、宿泊は無料。

*選挙ボランティアを希望される会員は、平和委員会にご連絡をお願いします!



山椒の葉を食べ尽くすアゲハ蝶の幼虫



会員の畑で「柿狩り」

秋のシーズンメント



【 11 月末～12 月の行事案内 】

- 27 (月) 「憲法を武器として―恵庭事件・知られざる 50 年目の真実」
上映 15:00～ 大阪平和委員会事務所 無料
- 29 (水) 秋の憲法大学学習会 廣渡清吾氏講演 18:30 エルおおさか南館
- 30 (木) 大阪安保「吉田務名護市統一連事務局長講演会」
18:15 大阪市住まい情報センター
- 12/8 (金) 革新懇「望月衣塑子東京新聞記者講演会」
18:30 中之島中央公会堂 参加費 1000 円
- 11 (月) 大阪平和委主催 JNN ルポ「米軍が最も恐れた男カメジロー」
上映 14:00～ たかつガーデン 3F ローズ 無料
- 13 (水) 九条の会大阪講演会 18:30 エルシアター 渡辺治氏講演
- 18 (月) ヒバクシャ国際署名大阪の会発足会 18:00 エル大阪南館
- 19 (火) 能勢正月もち配達 *1 袋 1480 円



今月の言葉―「ドイツは積極的軍事協力へ方針転換」

1991 年の湾岸戦争の際、ドイツは国外へ派兵せず、日本と同様に財政支援だけを行った。しかし、そのことがこれもまた日本と同様に「小切手外交」として厳しい非難を浴び、以降、ドイツは防衛の解釈を変え、積極的な軍事協力へと方針転換する。2001 年の 9.11 後に始まった国際治安支援部隊 (ISAF) に加わったアフガン派兵では、55 人のドイツ兵が戦死した。

日本もドイツの愚をおかすのか?

(『知ってほしい国ドイツ』高)

